

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度第1回 鹿児島西警察署協議会
会 議 日 時	令和7年7月29日（火曜日） 午後2時00分～午後4時00分
会 議 場 所	鹿児島西警察署 訓受室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 14人 2 警察署 署長以下 13人
<p>(会議の概要)</p> <p>1 会議次第</p> <p>(1) 委嘱状交付式</p> <p>(2) 幹部紹介</p> <p>(3) 協議会委員紹介</p> <p>(4) 会長挨拶</p> <p>(5) 管内概況及び治安情勢に関する説明</p> <p>(6) 警察行政に対する意見・要望の聴取、回答</p> <p>2 委員からの意見・要望</p> <p>(1) 西陵・田上地区で空き巣が多いと聞いたので、団地内や地域の巡回を増やしてほしい。また、外国人が増えると治安の維持が不安である。</p> <p>【回答】</p> <p>本年中、西陵・田上地区において、空き巣事件を3件認知しており、昨年、一昨年と比較すると増加傾向にあります。</p> <p>受け持ちの田上交番員を中心とした検挙活動に加え、パトロール回数を増やすと同時に巡回連絡による防犯対策を講じていきます。</p> <p>【警備課長】</p> <p>本年5月末現在、当署では2名の外国人犯罪を検挙しています。</p> <p>検挙活動以外の活動として、年々増加する外国人技能実習生などに対しては、受入れ団体からの要請により、犯罪を犯した時の刑罰や在留資格に及ぼす影響などについて講話を行い、未然防止対策を行っているところです。</p> <p>今後も、関係機関と連携の上、外国人犯罪の未然防止対策を講じていきます。</p> <p>(2) 自転車の交通ルールを守らない大人が多いように感じるため、PRを強化すべきではないか。</p> <p>【回答】</p> <p>大人への自転車ルールの周知は、各企業での法令講習やキャンペーン、公道における自転車の交通違反現認時に行う指導など、様々な機会を通じて啓発を行っているところです。</p> <p>今後も、これまでの活動を推し進めるとともに、様々な機会を捉えて幅広く周知されるように取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>(3) 小学校近くにある横断歩道の白線が薄くなっているところは、子供たちの安全のため、優先的に対処をお願いします。</p> <p>【回答】</p> <p>管内の道路標示については、滅失、摩耗等により効用が損なわれた状態の早期改善のため、平素から各種点検をはじめ、地域の方からの情報提供やパトロール活動などを通じて補修が必要な箇所を把握して、逐次警察本部へ報告し、警察本部と補修の優先度を協議するなど、連携して早期改善に取り組んでいるところです。</p> <p>一部に補修が行き届いていないという声があることは承知していますが、警察署としましては、引き続き地域の声を聞きながら、通学路や事故多発地点などを優先して補修するという方針の下、交通の安全と円滑に配慮した効果的な整備に努めてまいります。</p> <p>(4) JR薩摩松元駅前の道路の進入禁止の時間指定を要望する。</p> <p>【回答】</p> <p>本年7月16日の午前7時から午前8時まで、通学コースの交通量調査を行った結果、進入禁止の要望があった道路を利用する小学生は168人でした。</p> <p>なお、その間の通行車両は約150台で、一定の時間に集中することなく、1時間を</p>	

通して万遍なく通行している状況でしたので、1分間当たりの通行台数は約2.5台ということになります。

今回要望のあった「時間指定の進入禁止規制」は、交通規制の種類では「歩行者専用道路」という規制になり、歩行者の安全を確保するため、車の通行を禁止するというものになります。

交通規制をする必要性について、通学する小学生は道路右側を整然と通行しており、通行車両が通行の妨げとなるほどとは言えず、人と車が交差する危険性は低いと判断され、現状では規制を行う必要性は低いと考えます。

今後の交通情勢の変化等によって、「歩行者専用道路」の規制を実施する必要性が生じた場合には、交通規制によって負担を被る沿線にお住まいの住民の方々の合意を得る必要があります。

そのため、警察による交通規制については、引き続き、道路環境や交通環境の変化に適切に対応すべく、適宜迅速に必要性を検討していきたいと考えております。

- (5) 松元小学校正門前や小学校下の横断歩道が薄くなっているのでは、舗装できないか。

【回答】

道路標示の摩耗については、警察本部で県内各署から補修要請報告があった箇所をとりまとめて定期的に工事入札を行い、順次補正を進めているところです。

御指摘の横断歩道は、既に補修が完了している場所もありますが、未補修の横断歩道につきましては、優先度が高い箇所として既に警察本部へ報告をしており、現在、早期補修に向けて警察本部と連携して進めているところです。

- (6) 松元小学校近くの県道24号線で交通取締りを実施してほしい。

【回答】

県道24号線については、特に朝夕の通勤時間帯の車両の交通量が多い状況であり、子どもを含めた道路利用者の安全確保のため、引き続き、速度違反・信号無視・携帯電話使用等違反などの取締りのほか、警察官による立哨やパトカーによる巡回などを行ってまいりたいと思います。

- (7) 武小学校北側にある時間規制の歩行者専用道路では、規制時間帯であるにもかかわらず、車両が通行するので危険である。

【回答】

対象の道路は、スクールゾーンとして午前7時から午前8時30分まで「歩行者専用道路規制」がかかっています。

通行可能な車両は、通行許可を受けた車両のみとなりますので、子どもたちを含めた歩行者の安全確保のため、引き続き、交通違反取締りをはじめ、警察官による立哨やパトカーによる警戒などを行ってまいりたいと思います。

- (8) 鹿児島市武3丁目14番1号先の東側の側道から県道に流入することは可能か。

【回答】

対象の側道側には「一時停止」と進行できる方向を指定する「指定方向外進入禁止」の交通規制がかかっており、この標識により側道から北方向の県道に流入することは可能ですが、Uターンするような形で県道に流入することはできないことになっています。

- (9) 鹿児島市武3丁目1番4号付近において、右側駐車で乗り降りしている車があり危険である。

【回答】

関係者に対して、右側駐車や横断歩道の側端から5メートル以内に駐車することはできないことを説明し、指導するなどの対応をとったところです。

- (10) 鹿児島市武3丁目1番4号先の一方通行の道路を逆走する車両が多い。

対策として、道路に一方通行の標示をすることはできないか。

【回答】

道路標示は、道路管理者である鹿児島市が管理しているため、市の担当者には矢印標示の要望があったことを伝えたところ、市の担当者からは「直接現場を見に行き、路面標示の必要性を検討する。」との回答をいただいています。

警察署としては、逆走車両が多いとのことですので、引き続き、交通違反取締りをはじめ、警察官による立哨やパトカーによる警戒などを行ってまいりたいと思います。

- (11) 鹿児島市武3丁目23番11号先の交差点を東側に左折する際、進入禁止標識が見えないので、誤って進入する車両がいる。

【回答】

進入禁止標識が見えにくい状況があることから、左折進入防止を図るため、交差点手前に左折を禁止する「指定方向外進入禁止」の標識を設置して交通規制を実施しています。

現在の規制において、誤って左折進入する車両がいるということでしたので、ドライバーから見える位置に進入禁止の標識を移設できないか検討します。

また、指定方向外進入禁止の標識板が汚れていましたので、新しい物に替えています。

道路標示については、既に鹿児島市の担当部署に検討を申し入れています。

- (12) 警察官の意識向上のため、上司や同世代の職員とのコミュニケーションの場を設けてもらいたい。

【回答】

当署員の平均年齢は38.9歳で、年齢構成としては10代が1.5%、20代が25.2%、30代が25.7%、40代が28.6%、50代が13.1%、60代が5.8%となっており、30代以下の職員が半数以上を占めています。

世代を超えたコミュニケーションを図るため、当署では小グループによる検討会の開催やグループ活動、朝礼時における3分間スピーチなどに取り組んでいます。

また、昨年の一連の非違事案を受けて設置された「改革推進研究会」では、年齢に関係なく、警部補以下の職員が自由に意見交換を行い、組織に対する提言や要請を行うなどしているところです。

若手職員の中には、コミュニケーションに対する苦手意識を持つ者も少なからずいることから、私ども幹部や上司・先輩から積極的に声かけを行い、コミュニケーションを図っていくことも重要であると認識し、努めております。

署員同士が普段から良好な人間関係を築き、円滑なコミュニケーションが図れるよう、より一層職場環境の構築にも努めてまいりたいと思っております。

- (13) 地域を巡回し、住民に「何かあったら警察に相談」という気持ちのバックボーンになれば良いと思う。

【回答】

各交番に勤務する地域警察官は、「警ら活動」のほか、受持区の「巡回連絡活動」を通じて住民の要望や困りごとの把握に努めており、相談等を受けた際には、全てを関係課と共有するなどして速やかに必要な対応を確実にとるようにしています。

また、各地域で行われる地域安全安心ネットワーク会議や校区のスクールゾーン委員会等に出席するなどして、防犯や交通安全に関する情報提供・情報交換を行っているところです。

引き続き住民の方々寄り添いながら、より身近な存在と感じていただけるよう努めてまいりたいと考えております。

- (14) 経年劣化により色あせたり汚れた標識が多いように感じるが、順次、取り替えるなどの対応をしていただけないか。

【回答】

パトロールなどの活動を通じて古くなった標識などの発見に努め、順次、取り替えるなどの措置をとっていますが、予算の関係もあり、優先すべきものから対応をしていくため、今後も、市民の方からの情報提供をいただければと思っております。

備 考